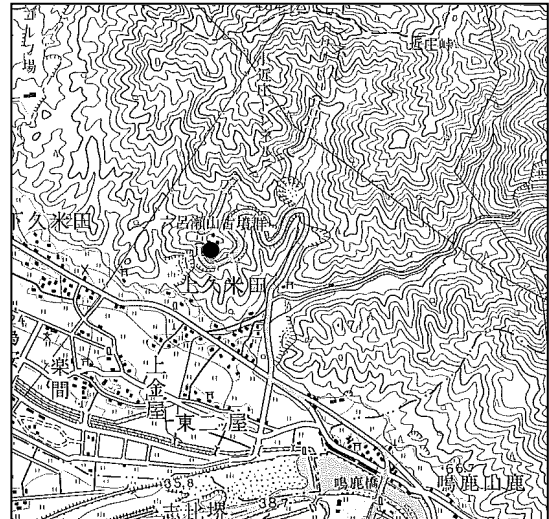


ろくろ せやま こふんぐん  
6. 六呂瀬山古墳群

所在地：坂井市丸岡町上久米田  
調査原因：範囲確認  
調査期間：平成 22 年 7 月 26 日～9 月 30 日  
調査主体：坂井市教育委員会  
調査面積：約 120 m<sup>2</sup>  
時代：不明



位置図 (S = 1/50,000)

**調査の概要** 六呂瀬山古墳群は、全長約 140mを測る北陸最大規模の前方後円墳を含む古墳群です。今回、周辺の尾根について、関連する遺跡の有無を確認し、既に確認されている 4 基のほかに古墳がないのかを確認する調査を実施しました。調査は 1 号墳の東側尾根に幅 1 m のトレンチを設定して行いました。

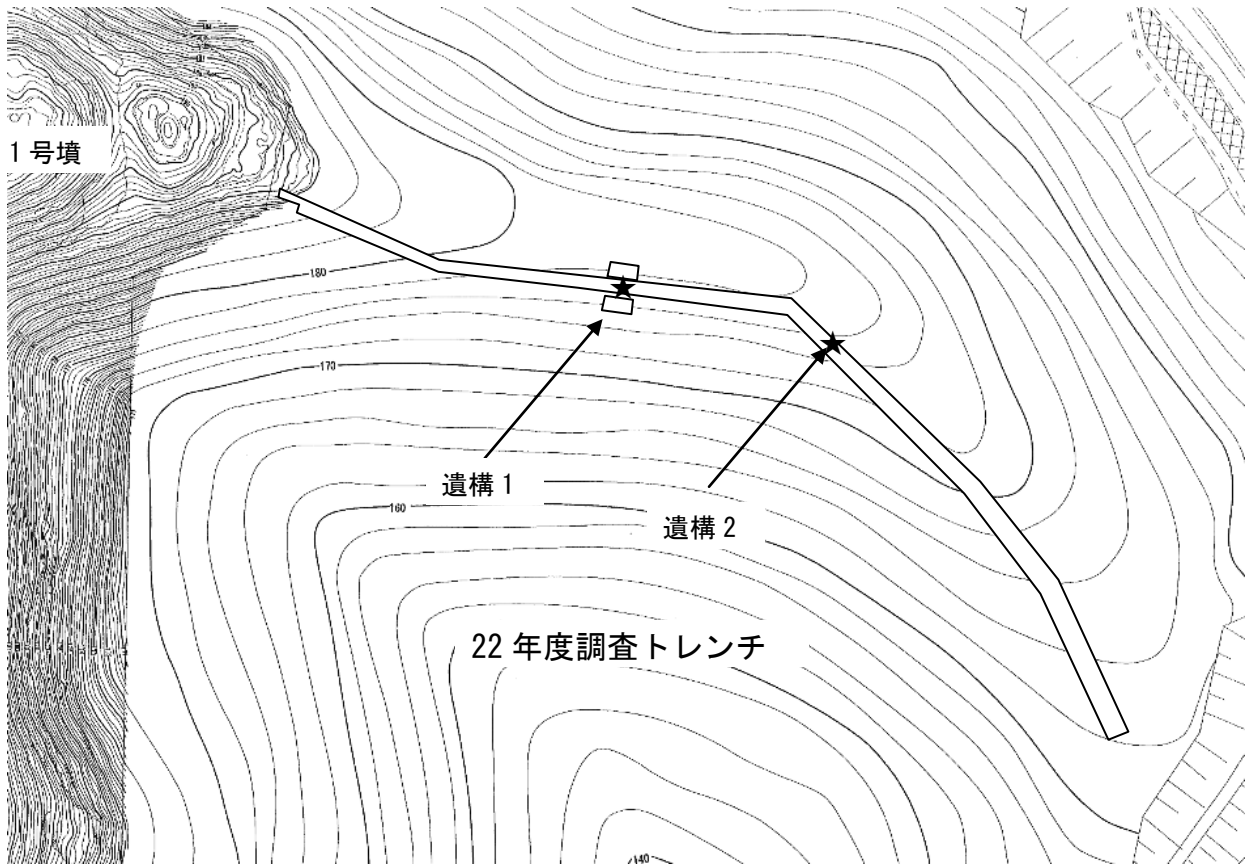
**遺構** 調査を実施した尾根は急峻な傾斜地で、途中一旦わずかに平坦になり、わずかに南に折れてさらに傾斜が続いています。国道の手前あたりで傾斜が緩くなり、かつての山道が繋がっていました。

土坑 1 は角が丸い長方形で、深さ約 20 cm の浅いものです。火を焚いた痕跡が確認でき、炭の層が 2 枚あったことから、火は 2 回焚かれているようです。

土坑 2 も角が丸い長方形で、深さ約 60 cm 程度ありました。やはり 2 回ほど火を焚いた跡が確認でき、土坑の内側は熱を受けて硬くなっていました。土坑の中ほどで土坑の形状がやや歪むことから、1 度火を焚いて埋め、その後もう一度掘って火を焚いているようです。

**遺物** 遺構には炭化物が多量に含まれているものの、時代を特定する遺物は出土しませんでした。また、トレンチでは、表土層の中から須恵器の破片が 1 点出土しました。

**まとめ** 今回の調査範囲では、古墳群に関連する遺跡を確認することはできませんでした。よって、1 号墳の東側に古墳群は広がっていないことがわかりました。土坑については時期、性格ともに不明ですが、何らかの祭祀の跡と思われます。(堤 徹也)



遺構 1 完掘



遺構 1 土層断面



遺構 2 完掘



遺構 2 土層断面